

シャットダウンボックス VMware vSphere対応バージョン一覧

2024/7/11

VMware vSphereバージョン	対応UPSS-SDB02バージョン	対応UPSS-SDB03バージョン	対応UPSS-SDB04バージョン
VMware vSphere 4.1	Ver.3.40以降	Ver.1.0.0以降	Ver.1.0.0以降
VMware vSphere 5.0、5.0 U1			
VMware vSphere 5.0 U2、5.0 U3	Ver.3.48で確認		
VMware vSphere 5.1、5.1 U1、5.1 U2、5.1 U3			
VMware vSphere 5.5、5.5 U1、5.5 U2、5.5 U3	Ver.3.49で確認		
VMware vSphere 6.0、6.0 U1、6.0 U2、6.0 U3	Ver.3.60以降		
VMware vSphere 6.5、6.5 U1、6.5 U2、6.5 U3			
VMware vSphere 6.7、6.7 U1、6.7 U2、6.7 U3	対応不可 ※2		
VMware vSphere 7.0、7.0 U1、7.0 U2、7.0 U3 ※1 ※3			
VMware vSphere 8.0、8.0 U1、8.0U2 ※1 ※3			
VMware vSphere 8.0 U3		条件付き対応 ※4 (Ver.1.0.0～Ver.1.2.8)	条件付き対応 ※4 (Ver.1.0.0～Ver.1.0.2)

- VMware HA構成、DRS使用構成にも対応しています。
- vCenterは仮想・物理どちらでもVMware構成の停止・起動が可能です。VCSA (VMware vCenter Server Appliance) も対応しています。
- ESXi7.0以降のvSAN環境/VxRail停止起動及び、Reboot Helperと連携したシャットダウン・自動起動に対応しています。

※1 vSphere7から追加された「vSphere with Kubernetes」によるコンテナ環境のシャットダウンは未検証となります。

事前検証が必要となるため、弊社営業までご相談をお願いします。
またvSAN ファイル サービス (File Service) には対応しておりません。

※2 VMware vSphere Hypervisor (ESXi) 6.7以降はUPSS-SDB02-Vでは対応できません。
最新モデルのUPSS-SDB04へのハードウェアアップデート(有償)をご検討ください。

※3 VMware vCenter 7.0U1～8.0U2の(外部)vCLS機能にも対応しています。

※4 vCLS機能を使用する場合、vCSA内にスクリプトファイルを配置し、SSHアクセスを恒久的に有効化する必要があります。
詳細はBroadcom公開のドキュメントをご確認ください。

<https://knowledge.broadcom.com/external/article?legacyId=91890>